

研究協力をお願い

昭和大学藤が丘病院では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究への協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

冠動脈疾患のステントレス治療の後ろ向き検討
1. 研究の対象および研究対象期間 2010年1月1日から2023年6月30日に昭和大学藤が丘病院心臓カテーテル手術を行った患者さん
2. 研究目的・方法 心臓カテーテル手術では薬剤溶出ステントを用いることが標準的ではある。しかし近年のカテーテルデバイスの発達で薬剤塗布バルーンが出現してきてその有用性が分かるようになった。ステントを残さない治療であるステントレス治療の頻度は年々増加してきている。本研究ではステントレス治療のメリット・デメリットを病変性状に応じて後ろ向きに検討する。また従来の薬剤溶出ステントを用いる治療と臨床成績を後ろ向きに比較する。
3. 研究期間 昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2025年3月31日まで
4. 研究に用いる試料・情報の種類 循環器内科に入院した患者データから、患者背景(性別、年齢、診断名、入院日、転入日、転棟日、退院日、在棟期間、入院期間、転帰、入院時入院形態、既往歴、内服歴、血液検査結果)、生理機能検査結果、冠動脈イメージング情報(OFDI、OCT、IVUS)を調査対象とする
5. 外部への試料・情報の提供 該当致しません
6. 研究組織 研究責任者 昭和大学藤が丘病院循環器内科 森敬善

研究分担者	昭和大学藤が丘病院循環器内科	石井優紀
	昭和大学藤が丘病院循環器内科	亀田俊吾
	昭和大学藤が丘病院循環器内科	大村歩
	昭和大学藤が丘病院循環器内科	手塚隆弘
	昭和大学藤が丘病院循環器内科	和田大輔
	昭和大学藤が丘病院循環器内科	曾根浩元
	昭和大学藤が丘病院循環器内科	武井洋介
	昭和大学藤が丘病院循環器内科	田代一真
	昭和大学藤が丘病院集中治療科	佐藤督忠
	昭和大学藤が丘病院循環器内科	鈴木洋

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学藤が丘病院

氏名：森 敬善

住所：横浜市青葉区藤が丘 1-30

電話番号：0459711151